

独立行政法人原子力安全基盤機構(JNES)の概要

平成24年11月12日
内閣官房原子力規制
組織等改革推進室

JNESの組織概要

1. 組織の役割

原子力の安全に係る国内外の最新の知見を踏まえ、原子力規制委員会を技術的に支援。

【主要業務】

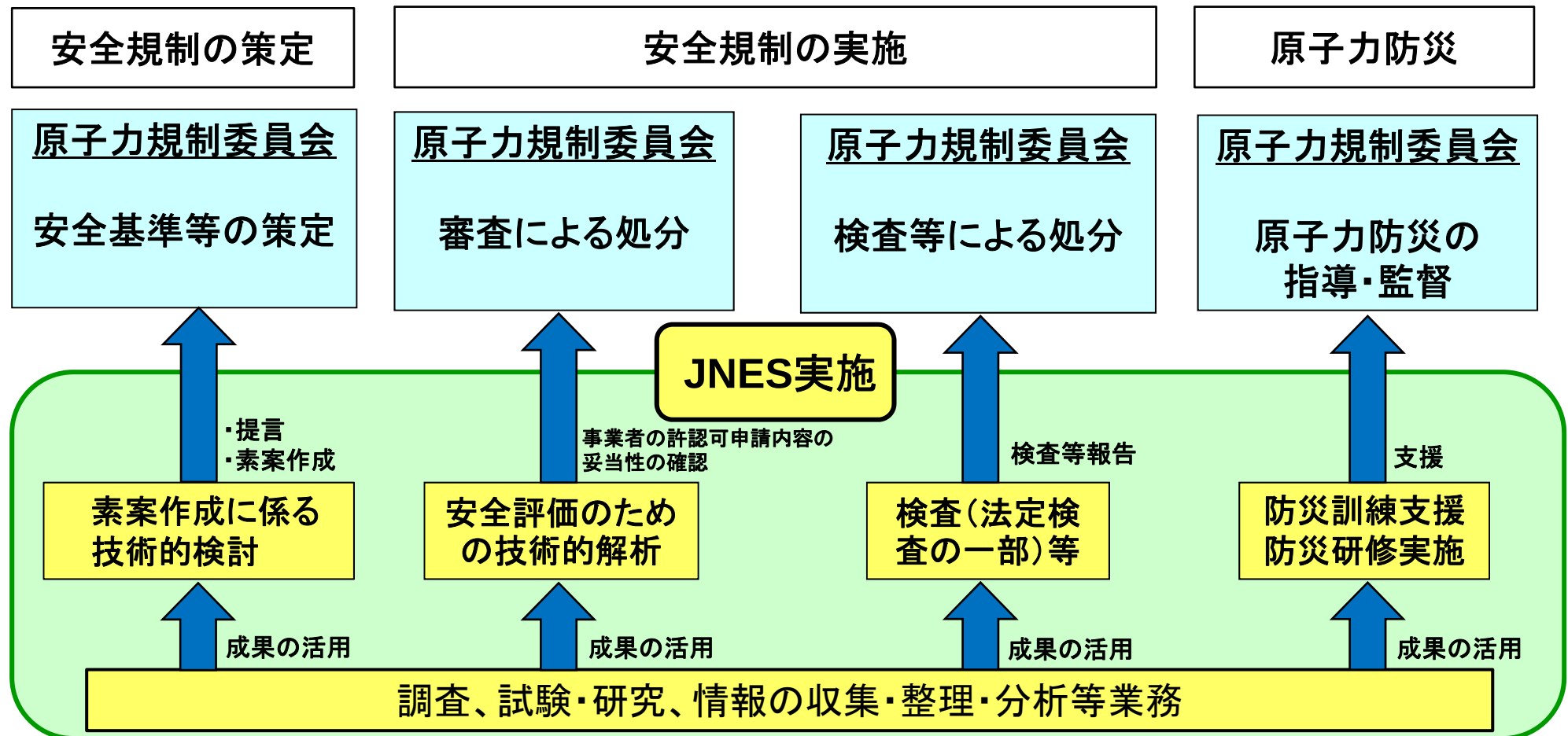
- 原子力関連施設等の検査
- 原子力関連施設の設計に関する安全性の解析及び評価
- 原子力災害の予防、拡大防止及び復旧に関する業務
- 原子力安全の確保に関する調査、試験、研究 等

2. 組織概要

設立	平成15年10月1日
理事長	中込 良廣
職員数	401名(常勤、平成24年10月1日現在)
予算規模	約206億円(平成24年度運営費交付金)

安全規制におけるJNESの役割

JNESは、安全規制において高度な技術的業務を担当



JNESの業務内容

原子力に係る専門知識と経験を有する専門家により、安全規制実施のための技術的業務を実施。

主要業務【安全規制実施等関連業務】

①検査等業務

- ・国からの通知に基づき実施するもの〔使用前検査、定期検査等〕
- ・事業者からの申請に基づき実施するもの〔定期安全管理審査、溶接検査等〕
- ・国からの指示に基づき実施するもの〔立入検査〕



②安全審査関連業務

- ・事業者の許認可申請内容の妥当性の確認(クロスチェック解析)
- ・事業者が作成した安全対策の妥当性の確認



③防災関連業務

- ・事故進展予測等の緊急時対策支援システム(ERSS)等の強化・充実
- ・地域防災計画の策定支援、原子力総合防災訓練への支援 等



成果の主要業務への活用

④試験・研究等

- ・必要な試験・研究等を実施し、規制上の課題に対する解決策を提言

⑤情報の収集、整理、分析等業務

- ・国内外の事故・トラブル情報、海外の規制動向等の安全情報を収集、整理、分析等を行い、安全対策等を提言

東京電力福島第一原子力発電所の事故後の安定状態維持等

JNESの有する技術力を駆使し東京電力福島第一原子力発電所の冷温停止状態達成に向けた取組等を支援。

●東京電力福島第一原子力発電所4号機原子炉建屋の耐震安全性評価に係る検討

4号機原子炉建屋の状況

事業者が実施した4号機原子炉建屋の耐震安全性評価結果の妥当性を独自に解析及び評価を実施。

➡ 耐震安全策の実施に貢献



「出典：東京電力」

●使用済燃料貯蔵プールの規制課題に関する総合研究

事故の教訓を活かし、使用済燃料貯蔵プールの安全規制に関し、新たな安全基準を策定すべく課題の抽出及び解決策を調査・研究中。

4号機使用済燃料プールの状況



「出典：東京電力」

●東京電力福島第一発電所炉注水停止事象評価(クロスチェック解析)

福島第一原子力発電所で現在稼働中の原子炉注水システムが停止した場合の放射性物質の放出量について、事業者の解析結果の妥当性を独自に解析及び評価を実施。

➡ 冷温停止状態達成のための注水方策の実施に貢献

クロスチェック解析：原子力施設の機器・構造物について事業者が行った安全性に係る解析結果の妥当性を評価するため、事業者とは異なる計算プログラムを用いて解析を行う。

